学校番号	3029

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	増補新版　現代の国語（数研出版）						
副教材等	力をつける現代文ステップ 2（数研出版）、大学入試の核心漢字と語彙 3750（尚文出版）、読解を深める現代文単語 三訂版（桐原書店）、トータルサポート新国語便覧 改訂版（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本語を母語とする者は日本語によって最も良く抽象的概念を扱い得ることから明らかなように、国語は思考のツールであり国語力はすべての学習の基礎となる力である。まずはこの事実を深く認識することが国語学習の出発点となる。「現代の国語」では、まず読解力を身につけることを目指すが、読解力とは、語彙力、言葉を誤解なく文脈の中で理解できる力、レトリックを正しく受け取る力、文章の論理構成を理解する力、直接には言及されていないことを読み取る「行間を読む力」など多岐にわたる。それらは有機的かつ複雑に関係し合っており、互いに切り離すことはできない。きわめて多くの情報の関係性を受け取りつつ筆者の言わんとするところを読み取るのが「読解力」であり、それは畢竟人生経験そのものだといえる。評論文などを「論理的文章」と呼ぶ向きもあるが、文章の表面的な論理だけを追っても評論文を十分読解することはできない。評論文の読解力だけを向上させる方法は存在しないことを肝に銘じ、小説、詩などの文学や映画などに親しむようにしてほしい。もちろん旅に出るなどして新たな知見を得ることも読解力を鍛える良い方法である。迂遠に思えても、さまざまな経験を通じて真の読解力を涵養することに努めることを求める。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

（１）実社会で必要な国語の知識や技能を身に付ける。

（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。

（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」を通して、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめる。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

期間	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期中間考査まで	論理的な思考を身につけ、自己と他者との関係や日本人の美意識について考える ［教材］ 「コミュニケーション能力とは何か」 「水の東西」 「感情暴走社会の由来」 現代文問題集・現代文単語・漢字問題集	a：主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、適切に使用している。 b［ 書 ］: 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 b［ 話／聞 ］: 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 c：目的・意図・場面に応じ、言語活動を意欲的に行い、言語感覚を磨こうとしている。	定期考査	グループワーク 定期考査	ワークシート等の提出物
前期期末考査まで	哲学的な考え方に触れる ［教材］ 「わらしべ長者の経済学」 「ポストプライバシー」 「ものとことば」 「他者を理解するということ」 現代文問題集・現代文単語・漢字問題集	a：主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b［ 書 ］:自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 b［ 読 ］:文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：考え方の根拠を示したり、論理展開を読み取ったりする上で、どのような工夫が必要かを順序立てて考えようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート等の提出物
後期中間考査まで	現代社会の諸問題について考える ［教材］ 「羅生門」 「浪費を妨げる社会」 現代文問題集・現代文単語・漢字問題集	a：主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。実社会において理解したり表現したりするために語彙を豊かにしている。 b［ 書 ］:読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 b［ 話／聞 ］:自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫すること。 c：目的・意図・場面に応じ、言語活動を意欲的に行い、言語感覚を磨こうとしている。	定期考査	グループワーク ワークシート等の提出物 定期考査	ワークシート等の提出物

後期期末考査まで	よりよく生きることについて考える ［教材］ 「無痛化する社会のゆくえ」 「時間と自由の関係について」 「未来世代への脅威」 「わたし」の輪郭 現代文問題集・現代文単語・漢字問題集	a：主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b［ 書 ］：目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 b［ 読 ］：目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 c：考え方の根拠を示したり、論理展開を読み取ったりする上で、どのような工夫が必要かを順序立てて考えようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート等の提出物

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準［b］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間